

## 郡山市議会 志翔会 議会報告 令和2年6月定例会・令和2年第3回臨時会特集

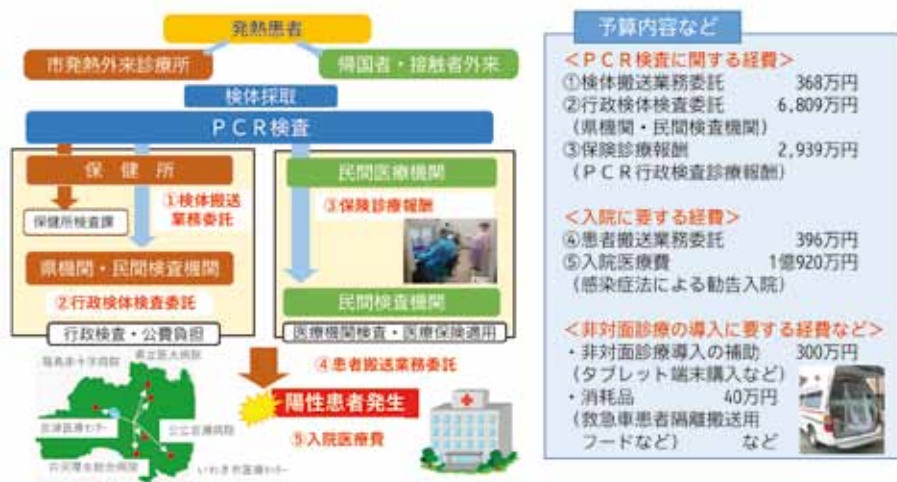
### 令和2年6月定例会・令和2年第3回臨時会の概要

令和2年6月定例会は、6月15日に開会し、当局から提案された議案については全て可決し、6月29日に閉会しました。また、8月5日には、令和2年6月定例会での一般質問等での議論、郡山商工会議所・郡山地区商工会広域協議会等の各種団体からの要望を踏まえ、新型コロナウイルス感染症に伴う地元経済支援の拡充を柱とする第3回臨時会が開かれました。

### 可決された6月補正予算の主な内容

#### ・新型コロナウイルス感染症対策の推進 (予算額：2億2,718万円)

新型コロナウイルス感染症発生の予防及びまん延防止のため、PCR検査・入院等に要する経費などに対し公費負担するほか、医療機関における非対面診療の導入を支援します。



子供たちの学びを保障する環境を実現するため、「1人1台端末」「高速通信ネットワーク」「オンライン学習環境」を一体的に整備し、全ての子供たちに最適な学習環境を提供します。

1人1台端末整備 3,182万円 (補助 国45千円/1台)	総事業費 (5年リース) 16億9,116万円	
☆小・中・義務教育学校に16,366台のタブレット端末を追加整備し、1人1台の端末環境を実現	(内訳) 国庫補助金(標準費へ) 7億3,647万円 市庫負担(5年リース) 9億5,469万円 (参考) 県立学費(2か月分) 3,182万円	
高速通信ネットワーク整備 7億2,457万円 (補助 国1/2・市債90%)	☆高速大容量(10Gbps)の通信ネットワークを整備し、1人1台端末を快適に活用できる環境を実現	
オンライン学習環境整備 258万円 (補助 国1/2)	☆小・中・義務教育学校に558台のwebカメラを整備し、web会議システム等を活用したオンライン学習環境を実現	

#### ・学校給食費への財政支援による保護者の負担軽減

(予算額：3億1,508万円)

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況の中、今後においても収入の減少や感染症対策費用の増加など、児童・生徒の各家庭において様々な影響が考えられることから、財政支援により、保護者が負担する第2学期における給食費の2分の1を軽減します。

対象者：市立小・中・義務教育学校に通う児童・生徒の保護者(給食費を負担している家庭)

内容：第2学期(8月～12月)  
軽減割合：2分の1

(1人当りの軽減額：  
[例] 小学校で13,158円、  
中学校で15,695円)



#### ・損壊家屋等の解体・撤去を推進 (予算額：10億7,728万円)

令和元年東日本台風により、被災した損壊建物等の解体・撤去を推進するとともに、災害ごみの処分及び災害廃棄物仮置場の復旧等を行います。

対象	罹災証明で、全壊、大規模半壊、半壊の判定を受けた家屋等	
補正額	公費解体分(130件→425件)	9億5,636万円
	自費解体分(20件→45件) (所有者が自費で行った解体・撤去に対する費用償還)	7,175万円
	災害ごみの処分及び仮置場復旧等	4,917万円
仮置場名	・富久山クリーンセンター ・河内クリーンセンター ・富久山スポーツ広場 ・達磨スポーツ広場 ・旧夏出分校 など	

#### ・湖南地区の指定避難所(湖南小中学校)に太陽光発電、蓄電池、LED照明を導入 (予算額：6,296万円)

気候変動に対応するため、湖南地区の指定避難所(湖南小中学校)に太陽光発電及び蓄電池を導入し、災害時における電力確保を図るとともに、屋内運動場にLED照明を導入することで、平常時での温室効果ガス排出抑制を図ります。

#### ・国民健康保険税率を据え置き (予算額：7,718万円)

国民健康保険特別会計における本算定を行い、令和2年度の税率等については、据え置きます。

#### ・介護保険料の軽減拡充と台風第19号に係る減免延長

(予算額：1億2,049万円)

令和元年10月実施の消費税率10%引き上げに伴い実施している介護保険料の減免措置を延長します。

#### ・路線バスやタクシーの感染症対策を支援 (予算額：1,139万円)

市民の足として利用されている路線バスやタクシーを安全・安心に利用できるよう、公共交通事業者が行う社内の消毒や運転手の防護等に要する費用の一部を助成します。

#### ・ICTの活用による働き方改革の推進 (予算額：1億3,474万円)

テレワークの環境とテレビ会議専用機器を整備し、「新しい生活様式」による多様な働き方改革を推進します。

#### ・子供の学びを保障するICT整備 (予算額：7億5,897万円)

タブレット端末を活用した個別支援の充実と臨時休業等における

## 6月定例会市政一般質問

### 要旨

#### 水害を踏まえた市街化調整区域のあり方について

村上 晃一

**問** 水害を受けた方々を含め、市民が安心して生活できるように、市街化区域からあまり距離が遠くなく、水害の危険性が低い、阿武隈川の東側などの地区においては、市街化調整区域を解除すべきと考えるが、見解は。



**答** 昨年発生した令和元年東日本台風により、被害を受けた方々の生活再建及び事業者の安全な事業運営を図ることを目的に、今年2月から、被災建築物の市街化調整区域への移転許可基準を新設し、現在までに25件の移転相談を受けている。今後も引き続き、地区計画及び移転許可基準の活用について、さまざまな機会を捉え、広く周知するとともに、今年6月の通常国会で成立した安全なまちづくりに向けた都市再生特別措置法等の一部を改正する法律の内容も踏まえつつ、柔軟に対応する。

#### 東部地区全体の都市計画道路の整備が遅れている理由について

**問** 本市の都市計画道路の整備状況は東西で差が生じているが、東部地区の整備が遅れているのはどのような理由なのか。

**答** 郡山駅を境に東西地区ごとに分けると、路線数は重複するが、西部地区については、64路線、延長147km、完了延長は約116km、整備率は79%であり、東部地区については、21路線、延長約57km、完了延長は約30km、整備率は約53%である。本市の都市計画道路において、計画が最も古い路線は、郡山駅西側に位置する1933年計画決定の国道4号線など、旧郡山市域の範囲内で整備が行われ、その後1955年、1960年の東部地区を含めた周辺町村との合併に伴い、優先度の高い区間から順次整備を進めてきた。このような歴史的な背景により整備状況の差が生じたと認識している。



令和元年12月に開通した内環状線（芳賀・横塚地区）第2期工区

#### 東北SDGs未来都市サミットシンポジウムについて

森合 秀行

**問** 本年1月16日に秋田県仙北市で東北SDGs未来都市サミットシンポジウムin仙北市が行われた。今回参加した東北4市町のトップリーダーともいえる課題解決先進都市を自称する郡山市は、なぜ、品川市長自らが出席せず、副市長の参加となったのか。



**答** 本年1月6日に郡山駅前地区の経済人の告別式における弔辞の依頼があり、東北SDGs未来都市サミットと日程が重なったことから大変迷ったが、市民の死を悼むのも、市長として大切な役割の一つであるとの認識のもと、まして、弔辞をお願いされていることも踏まえ、1月8日に仙北市へ市長代理として吉崎副市長が出席する旨を連絡し、告別式に参列することとした。



1月16日、重要公務を副市長に代理出席させ市長自らが告別式の弔辞を読んだ会場

#### 来年3月の高校入試について

**問** 今回の新型コロナウイルス感染症の影響による度重なる休業により通常とは違う学習状況である。そこで、県教育委員会に対して他市町村の教育委員会と連携しながら、来年の高校入試については、出題範囲を明確にするといった対応等について要望を行っていく必要があると考えるが、見解は。

**答** 現在、県教育委員会では、県内全中学校及び義務教育学校後期課程に対し「令和3年度福島県立高等学校入学者選抜学力検査問題の出題範囲に関するアンケート」を実施しており、学力検査の出題範囲について、早ければ8月末に方針を公表する予定である。

#### 事業継続応援家賃等補助金について…補助対象者について

佐藤 栄作

**問** 他の自治体を見ると、テナント側に直接家賃等の補助金を出しているが、なぜ本市はテナント側でなく、オーナー側の不動産事業者や所有者に対しての補助金なのか。



**答** 本制度が不動産オーナーを補助対象とした理由は、新型コロナウイルスの影響により休業を余儀なくされたテナント事業者の

申請に係る事務の負担軽減に加え、オーナーが家賃等を減免すれば、テナントの支払い負担が速やかに軽減され、テナントの事業継続が図りやすくなり、テナント及びオーナー双方の事業継続を支援する、即効性の高い制度であると判断し、オーナー側への補助とした。



テナントが多く集まる郡山駅前

#### 旧福島県農業試験場跡地等周辺開発について…市民や地域住民の意見の反映について

**問** 地区計画運用指針策定にあたり、本市は1月14日から2月12日にかけてパブリックコメントを実施したが、1件もコメントがなかった。再度、パブリックコメントのような意見公募の機会を設定するなど、市民の皆様の幅広い意見を集約するとともに、近隣の町内会組織等との懇談会を開催すべきと考えるが、見解は。

**答** 都市計画法においては、地区計画など都市計画の案を作成するに当たり、住民の意見を反映させるための措置として、同法第16条に規定される「公聴会の開催等」、さらに、案の作成後においても、同法第17条に「都市計画の縦覧等」が規定されており、都市計画の法的手続きに基づき、様々な意見を集約していく。また、地区計画を提案する事業者等に対しても、幅広く住民の意見を汲み取ること、反映することが大事なので、説明会等の実施について、協議・調整を図っていく。

#### 不足するコロナ禍に対応する経済対策の充実について…郡山市の経済対策の不足について

川前 光徳

**問** 品川市長が、4月30日の記者会見で「経営者としては、自助を考える事が大事」と述べたのに続いて、「破産というのが昔は非常になんか、夜逃げみたいな話がありましたけど、今はまさに「破産」についての考え方が変わりました。リバースといいましょうか。再生に対しての一つのステップだと。地域の差があるかもしれませんが、東京なんかですと破産の手続きも「はいはい」という形で迅速



にされてですね。…すでにあるセーフティネットも存分に利用していただきたい」と述べている。確かに、セーフティネットは大事だが、今は、破産もしようがないではなく、事業者を破産させないように取り組むべきである。その為には、まだまだ対策が足りない。もっと積極的に危機感を持って経済対策を実施すべきだと考えるが、市長のこの発言の趣旨と合わせて、考えは。

**答** 新型コロナウイルスによる経済危機は、2年続くという説もあり、本市の経済力を中長期的に維持・強化するためには、本市行政も、企業経営の言葉で言えば損益計算書のみならず貸借対照表的観点も大事に予算編成し、経済政策を進めることが重要であると認識している。発言については、破産法等の法律の条文そのものを申し上げればよかったと思う。今後は法律について触れる時は、法律の条文に忠実に話したい。



4月30日市長記者会見で「破産」をすすめる問題となった場面

市長記者会見の内容は、スマホ・タブレット等からQRコードにアクセスしてご覧頂けます。



## 都市計画マスタープランや立地適正化計画の見直しについて

**問** 郡山市の都市計画マスタープランや立地適正化計画は、コンパクトシティの考え方に従って、それぞれ計画されて、中心市街地の活性化も進められてきた。郡山市は、これらの考え方を見直すということなのか。

**答** 本市の都市づくりの基本的な考え方は、2014年に国から示された「コンパクト・プラス・ネットワーク」に基づき、コンパクトなまちづくりと公共交通ネットワークの連携を図りながら、本市の多様な地域特性を生かした持続的な「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指している。このような中、昨年発生した令和元年東日本台風による浸水被害の状況や本年6月の通常国会で成立した「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律案」の内容を踏まえ、立地適正化計画における居住誘導区域の見直しや新たに防災指針の策定等、現在、国・県と協議し作業を進めている。

## ハザードマップについて

久野 三男

**問** 本市では、雨の降り方に応じて作成された、「洪水ハザードマップ」、「内水ハザードマップ」の2種類のハザードマップを改定した。今回改定したハザードマップはどのような特徴があるのか。



**答** 今回の「洪水ハザードマップ」の特徴は、浸水想定区域内に、新たに垂直避難に特化した避難所を指定するなど、避難所の見直

しを行ったほか、令和元年東日本台風の浸水実績エリアの追加や阿武隈川の越水・溢水箇所及び藤田川・谷田川の決壊箇所を表示するなど、令和元年東日本台風の被害状況を反映させた内容となっている。次に、「内水ハザードマップ」は、「内水」について、2010年7月6日のゲリラ豪雨の諸元を前提に、去年7月に供用を開始した麓山調整池など、前回のハザードマップ作成以降に整備した浸水対策施設の排水能力や貯留能力をさらに反映させた浸水想定区域を示している。

## 旧豊田貯水池利活用について

**問** 今後の旧豊田貯水池利活用実現までの予定については。

**答** 4月13日に「旧豊田貯水池利活用方針（案）中間とりまとめ」を市民へ示し、6月末までに意見を頂いた。今後、「利活用（案）中間とりまとめ」に対する種々の意見、提言等を踏まえ、整備計画の議論のたたき台となる利活用方針（案）を策定した後、幅広く意見を聞く機会を設けたい。なお、利活用にあたり、基本計画や基本設計等に加え、整備費や運営費という中長期的な財源確保等の多くの課題があり、これらを総合的に勘案しながら、検討を進めていく。



旧豊田浄水場跡地

## 写真で見る志翔会

### 根本匠前厚生労働大臣との懇談会

6月27日(土)、郡山市労働福祉会館にて前厚生労働大臣の根本匠衆議院議員との懇談会を行いました。根本匠衆議院議員から「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」について、6月に閉会した通常国会で成立した補正予算の概要や政府のコロナウィルス対策について説明を頂きました。その後、出席した議員から本市の経済対策について意見交換を行いました。



### 風景貯留管工事現場視察

7月6日(月)、現在、浸水対策のために進められている静御前通りの地下（郡山東高校の脇の道路）で進められている風景貯留管工事現場を見学しました。当日は、工事の進捗状況や現在の浸水被害対策の状況について、村上上下水道事業管理者から説明を受けたのち、実際の工事現場を視察しました。



## 第3回臨時会で可決された8月補正予算の主な内容

### ◆ 郡山市「家賃支援給付金」(予算額: 7億7,073万円)

国の家賃支援給付金事業の対象とならなかった方々に対し、家賃に対する支援を行う。

#### 【対象者】

- 中堅企業、中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者
- 5～12月の売上高が、以下のいずれにも該当
- 1か月で**前年同比15%以上50%未満減少**
- 3か月連続で前年同比30%以上減少していないこと

#### 【給付額】

1事業者当たり月額賃料総額の3分の2(千円未満の端数切捨て) 上限10万円/月、最大60万円(6か月)

### ◆ 郡山市「事業継続給付金」(予算額: 5億3,693円)

国の持続化給付金事業の対象とならなかった方々に対し、家賃以外の光熱費等の固定費に対する支援を行う。

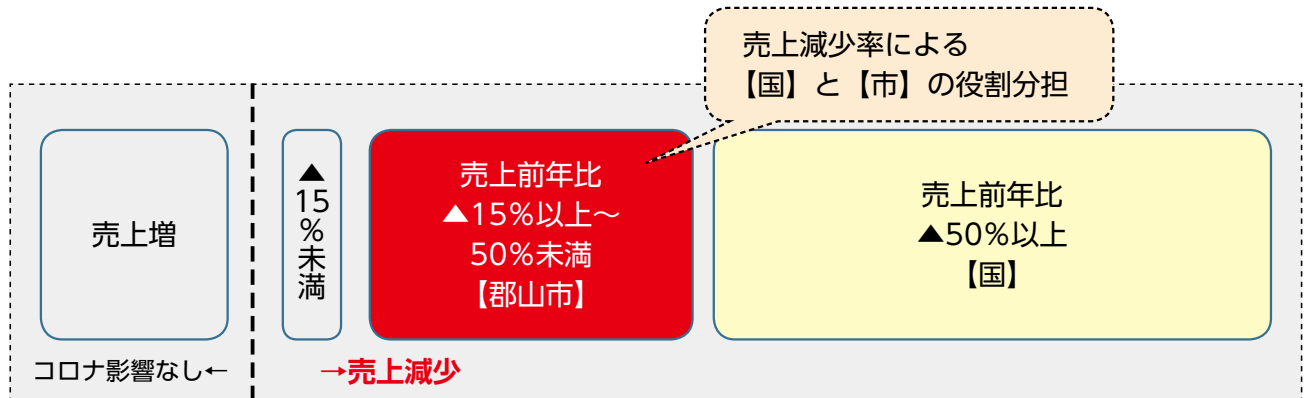
#### 【対象者】

- 中堅企業、中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者
- 2020年1月以降、ひと月の売上の減少幅が、**前年同比で15%以上50%未満**
- 国の持続化給付金の交付を受けていない。かつ、その交付要件を満たしていない。

#### 【給付額】

- 店舗・事業所等が1か所のみの方 一律10万円
- 店舗・事業所等が2か所以上の方 一律20万円(最大)

【参考】  
郡山市  
「家賃支援給付金・  
事業継続支援給付金」  
対象者イメージ



### ◆ 「郡山市新生児応援給付金」(10万円)の支給と「ASAKAMA 887」(郡山産最高級米)の贈呈(2億2,735万円)

令和2年4月28日～令和3年3月31日に生まれた市内在住の児童(新生児)を対象に給付金(10万円)を支給するとともに、お祝い品として、「ASAKAMA 887」(郡山産最高級米)(2kg)を贈呈します。



### ◆ 「郡山市子育て応援給付金」(1万円)を追加支給(4億5,470万円)

市内在住の0歳～15歳までの児童(令和2年8月31日現在で市内に住民登録)を対象に給付金(1万円)を支給(児童手当の支給情報を活用するため申請不要、9月30日支給予定)します。

熊本県を中心に被害が発生した令和2年7月豪雨、並びに7月30日、島二丁目地内(温野菜 郡山新さくら通り店)の爆発事故の被害にあわれた市民・企業の皆さまに対し心よりお見舞い申し上げます。

### ◆ 志翔会議員紹介 (期数・地区・連絡先・会派役職又は市議会役職・常任委員会)



村上 晃一(1期)  
安原町 ☎944-7507  
事務局主任・建設水道



森合 秀行(2期)  
安積町 ☎953-7885  
広報担当・文教福祉  
議会運営  
議会改革特別委員会



佐藤 栄作(2期)  
富田町 ☎932-2780  
事務局長兼政務活動費担当  
環境経済(副委員長)  
議会運営



佐藤 徹哉(3期)  
菜根 ☎923-4485  
幹事長兼会派会計  
総務財政・議会運営(委員長)  
議会改革特別委員会



川前 光徳(3期)  
堂前町 ☎922-5265  
会長兼政調会長・文教福祉  
議会改革特別委員会



塩田 義智(4期)  
三穂田町 ☎945-2015  
副会長・総務財政(委員長)  
議会運営



近内 利男(4期)  
緑ヶ丘 ☎942-7967  
市監査委員・環境経済



久野 三男(4期)  
方八町 ☎943-3200  
副会長・文教福祉(委員長)



佐藤 政喜(4期)  
大槻町 ☎951-2316  
顧問(前議長)・環境経済  
議会改革特別委員会(委員長)



大城 宏之(5期)  
安積町 ☎945-6566  
副会長・建設水道  
議会運営



七海喜久雄(5期)  
中田町 ☎922-9587  
市議会議長



鈴木 祐治(6期)  
田村町 ☎955-2172  
顧問(元副議長)・建設水道

### 編集後記

この志翔会だよりが皆さまのお手元に届く頃、本来であれば2020東京オリンピックの閉会式が、建築家隈研吾氏設計の新国立競技場で晴れやかに行われていたと思います。しかし、中国・武漢を起因とする新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、残念ながら今年には行われませんでした。また、うねめ祭りやあさか野夏祭り花火大会といった様々な夏のイベントが中止となりました。来夏は、市民の皆さまの笑顔があふれる時間が数多く過ごせることを期待しながら筆を置きたいと思います。

(編集責任者: 森合秀行)

### 郡山市議会議員の虚礼廃止

選挙によって選出される議員等の職にあるものが、暑中見舞状などの時候のあいさつ状(電報も含む)を出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は公職選挙法により禁止されています。

市民の皆様には、この趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。